

かじや知宏 議員報告



<生年月日>昭和43年9月12日 <年齢>45歳 <出身地>大阪府枚方市 <趣味>読書、スポーツ観戦、神社仏閣巡り <血液型>O型
<経歴>阪保育所→殿山第二小→枚方三中→牧野高→龍谷大→報知新聞社(11年)→枚方市広報課(3年3ヶ月)→行政書士

<市役所>〒573-8666 枚方市大垣内町2-1-20 電話072-841-1221代

<自宅>〒573-0171 枚方市北山1-23-57 電話090-3705-9393

Eメール tomohiro@t-kajiya.com

かじや知宏のホームページ
<http://www.t-kajiya.com>

特定の団体・地域のための「口利き」「顔つなぎ」「利益誘導」の政治から脱却

あしたの枚方のために 新しい政治への挑戦



これまでの市議会議員には、特定の団体・地域の代表として「口利き」「顔つなぎ」「利益誘導」が求められ、その実行力が議員の資質・力量とされてきました。

このような利益誘導を選挙の票につなげていく政治の仕組みも、税収が右肩上がりだった高度経済成長時代には、一定の役割を果たしていました。

しかし、少子高齢化による税収の減少や福祉関連経費の増加、それに伴う国・自治体の借金が年々膨らんでいる状況において、議員の果たすべき役割にも大きな変化が求められています。

今後、将来にわたって市民が安心して安全に暮

らすことのできる街を築くためには、行政にしかできない仕事は何かを精査しながら、財政を健全化し、限られた税金を福祉・教育などのよりよい行政サービスの充実に使う「行財政改革」を進めていくことが必要です。これからの議員に求められる役割は、特定の団体・地域の単なる「代弁者」ではなく、市の財政や事業を厳しく精査し、新たな仕組みを提案することです。

かじや知宏は、特定の団体・地域のための「口利き」「顔つなぎ」「利益誘導」の古い政治とは一線を画し、しがらみのない新しい政治に挑戦していきます。議員本来の仕事である本会議や委員会での質問等を通じて「税金の流れの透明化」「ムダの排除」「既得権の見直し」を進めるとともに、新たな仕組みを積極的に提案し、未来につながる政策を実現します。

税金の流れの透明化 **ムダの排除** **既得権の見直し**

市民の手に税金と政治を取り戻します!!

今回の議員報告は、6月議会で私が行った一般質問の項目を取り上げ、その要旨や私の考え方について掲載しています。なお、各質問の詳細については「かじや知宏のホームページ」に掲載していますのでご覧ください。

この議員報告は、市政調査の目的で発行しています。枚方市政に関するご意見・ご提言・ご感想がございましたら、お気軽にお寄せください。皆さまから頂戴したご意見等は、今後の議員活動に生かしていきます。

(1) 定年延長と高年齢職員の給与のあり方について

定年延長の実施までに給与制度の抜本的な改革を

- 年金支給年齢の引き上げに伴い、定年延長など高年齢者の雇用確保措置が義務化
- 現行の給与制度のまま定年延長が実施されれば、総人件費は大きく膨らむことに
- 定年延長の実施により、高年齢層職員の人件費が若年層職員の人件費を圧迫
- 高年齢層職員の給与水準の見直しや、職務・職責に応じた給与制度などへの改革が急務



高年齢層職員の給与水準の検証・見直しを 職務・職責に応じたメリハリのある給与制度に

市職員の定年退職後の雇用のあり方については、年金支給年齢の引き上げに伴い、定年延長など高年齢者の雇用確保措置の義務化などが求められており、市でも定年延長を行うことは一定やむを得ないと考えます。

しかし、民間事業者、とりわけ中小事業者などは、依然厳しい状況にあり、高年齢者の雇用については非常に悩ましい問題です。そのような状況の中で、市が現状の制度のまま、民間より先に定年延長を実施することについては、市民の理解が得られるとは思えません。

また、今後、定年延長が実施された場合、60歳を超える職員については、現在の制度における給与よりも、明らかに定年延長実施後の給与が上回り、人

件費が増大することになります。そうなれば総人件費の適正化の観点から、結果として、50歳台後半層を含む高年齢層の職員の人件費が、若年層の職員の人件費を圧迫することが危惧されます。

さらに、職務・職責に応じたメリハリのある給与制度の観点から、現在の管理職と非管理職の給与水準がそれぞれ適正なのかといった検証を行うことも必要です。

今後、定年延長に伴って総人件費が膨らむことのないよう、定年延長の実施までに、高年齢層職員の給与水準の見直しをはじめ、職務・職責に応じたメリハリのある給与制度への改革、また技能労務職場の民間委託を進めるなど、人事・給与制度の抜本的な改革に取り組むよう提言しました。

(2) 庁内におけるペーパーレスの推進について

ペーパーレスの推進で業務の効率化や職員の意識改革を 市役所では、会議資料や業務に関する書類など、非常に多くの紙が使われています。紙の使用量は平成24年度でA4用紙換算約1427万枚、紙の購入費用は約868万円にもなります。紙の購入費用はもちろん、コピーやプリンターのランニングコスト、書類保管のスペース、またそれらの印刷や配布、検索などに取られる職員の執務時間などを考えると、これらのムダを改善し業務の効率化を図る必要があります。環境面への配慮だけでなく、職員の意識改革という観点から、従来の紙を原本とする事務処理方法にとらわれない効果的・効率的な業務への転換が求められています。

具体的には、会議資料をデータで配布し、タブレット端末などを用いて進行する「ペーパーレス会議」の実施など、ICTを活用した全庁的なペーパーレスの推進です。今後、技術革新の動向に注視しながら、民間事業者や先進自治体の活用事例を検証するなど、ペーパーレスの取り組みを進めるよう提言しました。

(3) 校区コミュニティ協議会、自治会等における政治的中立性の確保について

【かじや 質問】校区コミュニティ協議会や自治会が、特定の政治家に推薦を出すなど、その組織を利用して政治家への支持を会員に要請することは問題ないのでしょうか。また、自治会等の活動における政治的中立性について、具体的な啓発が必要だと考えますが、見解をお聞かせください。

【市民安全部長 答弁】校区コミュニティ協議会や自治会は、政治的に中立であることが基本です。政治的な活動については、誤解のないよう十分議論し、注意する必要があります。今後、自治会等の活動における政治的な中立性についても、市ホームページに掲載するなど、啓発に取り組んでいきます。



自治会が政治家を推薦する行為に疑問の声が 政治的中立性を担保するため市は具体的な啓発を

市は「校区コミュニティ協議会や自治会の活動は、政治的に中立であることが基本であり、政治的な活動には注意を要する」という見解を示しました。その一方で、ある一部の自治会では、選挙時に特定の政治家を推薦し、文書で会員に協力を要請していた事実があります。このような校区コミュニティ協議会や自治会の政治的活動は、市の見解に反しており、住民からも多くの疑問の声が寄せられています。

河内長野市では、政治的中立性を求めた啓発文書

を「自治会ハンドブック」という冊子に掲載しています。また、鳥取県選挙管理委員会では「選挙において町内会で推薦を行うことは好ましくない」との見解を示し、「明るい選挙推進大会」を通じて啓発している事例もあります。来年は統一地方選挙や市長選挙が実施されます。枚方市でも他市の事例にあるように、校区コミュニティ協議会や自治会の政治的中立性を担保するため、ホームページや冊子などを活用し具体的な啓発を行うよう提言しました。

(4) 庁舎内における『しんぶん赤旗』の勧誘、配布、販売について

【かじや 質問】神奈川県鎌倉市や兵庫県伊丹市、福岡県行橋市など全国の自治体において、市庁舎内で政党機関紙『しんぶん赤旗』の勧誘、配布、販売が行われているとの新聞報道がありましたが、本市においてもこのような実態があるのか、具体的な状況についてお聞きします。

【総務部長 答弁】勤務時間外に職員が配布し、市議会議員が集金を行っていることについては確認していますが、職員に対する勧誘の状況については把握していません。



市議会議員による勧誘が伊丹市など各地で発覚 庁舎内における販売等の実態について調査を

『しんぶん赤旗』については「共産党の市議会議員による勧誘や配布、集金が全国の自治体で慣例化しているとみられ、立場を利用した心理的強制にあたる可能性もある」と新聞報道で指摘されています。鎌倉市では、今年の4月から執務室内での政党機関紙等の勧誘等の行為を禁止しました。

市は市庁舎内における『しんぶん赤旗』の販売等の行為の詳細を把握していないとの答弁でしたが、

全国の議会で問題が指摘され、本市でも一部で実態が確認されている訳ですから、公務に支障がないのか、また庁舎管理規則上問題がないのかを正確に判断するためにも、市として詳細な実態を把握し、確認する必要があります。市職員に対して、勧誘行為の実態や市議会議員の関与などについてのアンケート調査を行うとともに、もし違反行為があれば厳格に対応するよう提言しました。



1年待っても借りることができないベストセラー本 サービス向上を目指し図書館にも民間活力の導入を

ベストセラー本の貸し出しについては、予約待ちが非常に多く、なかなか読めないケースがあります。例えば、百田尚樹氏の「海賊とよばれた男」は、6月現在で20冊の蔵書に対し662件の予約があり、単純計算で1年以上も待たないと読めないのが現状です。しかし、人気のある本だからといって何冊も購入することは経費等の問題があり、賛成できません。例えば、2週間と定められている貸し出し期間を、人気のある本は1週間とするなど、柔軟に変更できれば、予約待ちの期間が短くなります。新作と旧作とで貸し出し期間の設定を変えることは、民間のレ

ンタル事業者では既に行われていることです。

しかし、貸し出し期間の変更については、システムの関係や費用面から、現状の直営による運営形態では難しいとのこと。現在、市民サービスの向上と効果的・効率的運営を目指して、図書館への民間活力の導入に向けた検討が行われています。

貸し出し期間の柔軟な運用をはじめ、開館時間の延長など利用者の満足度を高めるためには、民間のノウハウを図書館運営に活かすことが必要です。市民サービスの向上に向けて、図書館への民間活力の導入を進めるよう提言しました。

6月議会では以下の項目についても質問・提言をしました

◆総合文化施設整備と市駅周辺再整備ビジョンとの関連について ◆寄附を受ける美術館の整備について など

※質問内容の詳細につきましては、かじや知宏のホームページに掲載しています

市政報告会 政治が身近になる中身の濃い2時間 枚方の未来について語り合いましょう

牧野生涯学習市民センター：8/28（木）19時～21時
（京阪・牧野駅から東に300m、枚方市宇山町4-5）

菅原生涯学習市民センター：8/29（金）19時～21時
（JR・長尾駅から南西に400m、枚方市長尾元町1-35-1）

サンプラザ生涯学習市民センター：9/1（月）19時～21時
（京阪・枚方市駅東口直結、ひらかたサンプラザ3号館5階）



※座談会形式の気軽な報告会です。参加費無料。時間途中からの参加も大歓迎。参加をご希望される方は、会場等の準備の都合がございますので、お手数ですが事前にメールまたは電話にてお申し込みをお願いします。

活動の詳細についてはホームページをご覧ください

かじや知宏

で 検索



携帯電話からブログ
をご覧になれます



tomohiro.kajiya



@kajiya_tomohiro

※フェイスブックとツイッターのアカウントを開設しています。

駅前報告を行っています

～510回継続中～

一人での多くの市民の方に市政情報をお伝えしたいという思いから、駅前で「議員報告」の配布を行っています。もし見かけられましたら、お気軽にお声掛けください。